

令和5年度

幼稚園だより 3月号



文京区立千駄木幼稚園

こどもたちをまんやかに

園長 多比良 由恵

日差しの明るさや園庭に咲く梅の花に春の訪れを感じます。いよいよ、1年間のまとめの月を迎えました。5月に新型コロナウイルスが5類となり、教育活動が大きく広がったこの1年。運動会では全学年が揃って開催でき、制限なく多くの保護者の方に応援していただくことができました。キラキラ音楽会や年中・年長組子ども会では、他学年の取り組みの様子を保護者の方に参観していただくことができました。それらの折は、我が子の成長を感じると共に、昨年の姿を思い起こしたり、来年に期待をもったりする機会となったのではないのでしょうか。お子様の成長をご家族が温かく見守り、受けとめ、励まし支えてこられた1年であったことと思います。

令和5年4月にこども基本法が施行され、こども家庭庁が創設されました。『こどもまんなか社会』の実現のために様々な子育てへの支援策が打ち出され、文京区でも「未就園児の定期的な預かり事業」などが始まっています。

『こどもまんなか社会』という、幼稚園や幼稚園保護者にとっては、そのようなこととして感じますが、日本の社会全体ではまだそうではない状況もありそうです。

少子高齢化社会の中で、どの世代の人たちも幸せに暮らせる社会、とりわけ子どもたちが、ご家族をはじめ、幼稚園で出会う友達や先生たち、地域の方々に温かく受け入れられ、“大切にされている。愛されている”という実感をもち、育まれることは重要です。

千駄木幼稚園に集う子どもたち、保護者、教職員、地域の皆様にとって「通いたい幼稚園」「通ってよかった幼稚園」であり続けるように、これからもこどもたちをまんやかにして、教育活動に取り組んで参ります。今年度、保護者、地域の皆様には、たくさんのご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

〈 世界で一つのおひなさま 〉



〈年少組：丸折り紙を使って〉



〈年中組：折り紙を重ねて〉



〈年長組：ビンに紙粘土を巻いて立体的に〉